



Possibility of chemistry

Denka

世界に誇れる、化学を。

個人投資家向け説明会

2024年9月17日

証券コード：4061
デンカ株式会社

- 
- 1 Denkaとは
 - 2 当社の事業・製品
 - 3 サステナビリティの追求
 - 4 経営計画「Mission2030」と株主還元

世界に誇れる、化学を。

Denka

1

Denkaとは

世界に誇れる、化学を。

Denka

創業 1915年

資本金 370億円

従業員数 (連結) 6,514人

連結子会社 41社

(2024年3月31日時点)



創業期

カーバイド製造技術をベースに
肥料の製造・販売を目的に創立
電力供給安定の為、自社水力発電を開始



大牟田工場開設（1916年）
三井鉱山の石炭コンビナートの1社
として無機化学製品の製造を開始

基盤事業拡大期

カーバイドアセチレン化学の
事業展開により、有機分野に進出



アセチレンブラック



クロロプレングム

総合化学への拡大

石油化学、ヘルスケア領域へ進出
カーバイド製造で得た技術を活かし、
最先端な電子材料素材を拡充



スチレンモノマー



インフルエンザワクチン

ポートフォリオ変革と スペシャリティ化の推進

電子材料事業やヘルスケア事業など
スペシャリティ事業の拡大

ポートフォリオ変革：
セメント事業の撤退他



2023年度
売上高
3,893億円

過去最高益

2021年度
営業利益
401億円

2023年度
営業利益
134億円



青海川発電所
(新潟県)

売上 営業利益

1915年 1920年 1925年 1930年 1935年 1940年 1945年 1950年 1955年 1960年 1965年 1970年 1975年 1980年 1985年 1990年 1995年 2000年 2005年 2010年 2015年 2020年

ニッチマーケットで求められる 3 分野の独自技術 と 水力発電

1 機能性粉体

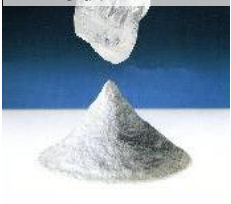
高温焼成・精密球状化・不純物制御などを極めた製造技術・ノウハウ

世界シェアNo.1

アセチレンブラック



球状シリカ



窒化珪素



球状アルミナ



2 ヘルスケア製品

積み上げた細菌・ウイルスの保有ライブラリーと培養技術

世界シェアNo.1

C反応性蛋白(CRP)
測定試薬



国内シェアNo.1

抗原迅速診断キット



国内シェアトップクラス

インフルエンザワクチン



3 有機化学品

高分子合成、精密重合など独自の製造技術・ノウハウ

世界シェアNo.1

クロロプレンゴム



超耐熱性樹脂IP



MS樹脂



新製品

スネクトン



4 水力発電

創業当初から100年以上保有し、規模を拡大させてきた発電能力と操業ノウハウ



電源構成比の約4割

- ・国内17ヵ所、
- ・一般家庭の約18万世帯
- ・最大出力約14万kw
- ・国内製造業電力出力第2位

※2023年8月現在/合併会社所有分含む

ポリマーソリューション

幅広い製品群により自動車や電機、食品包装容器など
様々な用途で人々の暮らしを支える



エラストマー・インフラソリューション

有機から無機までの幅広い技術で人々の安全・安心・快適
な暮らしを支える



電子・先端プロダクツ

半導体、xEV、次世代高速通信、再生可能エネルギー分野に
おいて最先端素材を提供



ライフイノベーション

予防・診断・治療のそれぞれの領域において、最終製品・
サービスを提供



2023年度
連結売上高
3,893億円

2

当社の事業・製品
電子・先端プロダクツ

世界に誇れる、化学を。

Denka

最先端素材を通じて豊かな社会を実現

	半導体関連	xEV関連	次世代高速通信関連	再生可能エネルギー関連
高機能フィルム	●			
球状シリカ/低誘電正接シリカ	●		●	
球状アルミナ	●	●	●	
窒化珪素		●		●
アセチレンブラック		●		●
セラミックス基板		●		●
スネクトン※新製品			●	
LCPフィルム※新製品			●	

世界シェアNo.1

アセチレンブラック



- カーボンブラックの一種
- 他のカーボンブラックに比べ独自技術により含有金属不純物が大幅に少なく、高い安全性・信頼性が求められる用途などで使用される

カーボンブラックとは…



タイヤやゴム製品などに使用される黒色の炭素主体の微粒子

主な用途

1

xEVなどのLiBの正極材に
使用される導電助剤

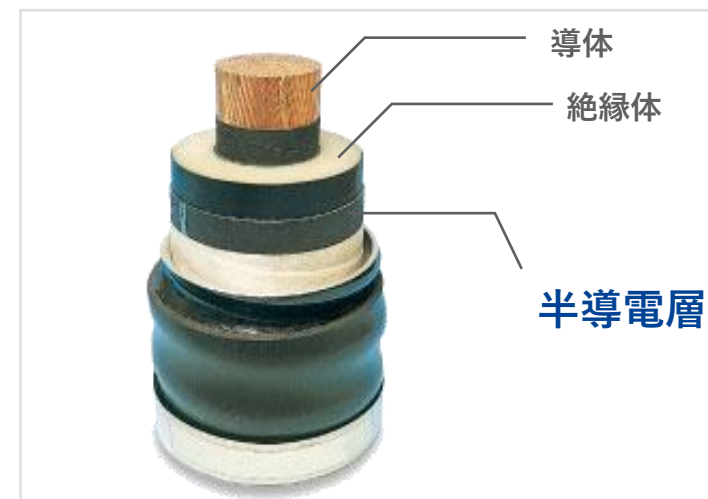
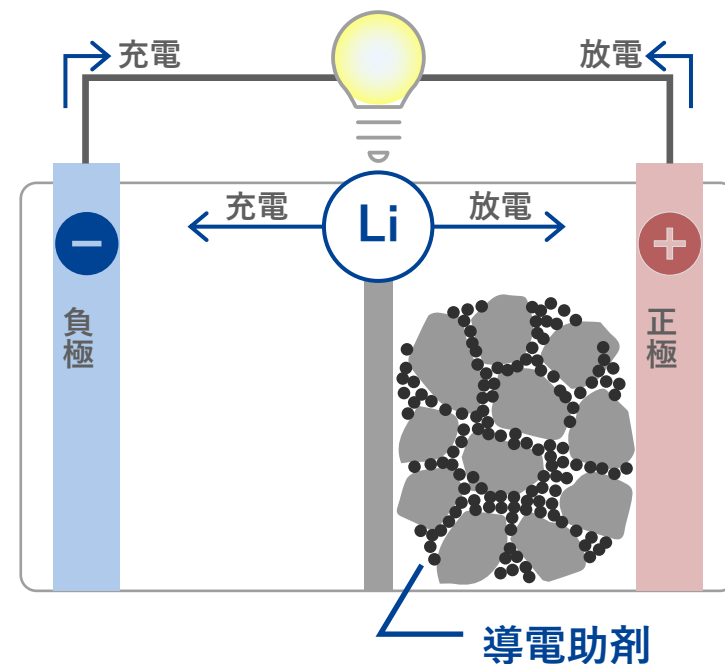
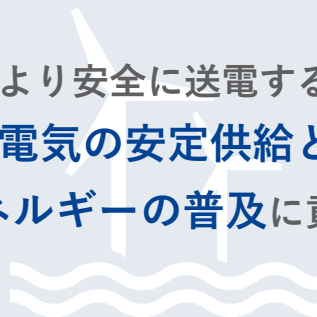
LiBの高出力・大容量化に貢献



2

洋上風力発電などの
高圧ケーブルの半導電層

電力をより安全に送電する効果があり、**電気の安定供給とクリーンエネルギーの普及**に貢献



世界シェアNo.1

球状アルミナ



高い放熱性を有し放熱グリースや放熱シート材料として用いられる

主な用途

1

半導体・電子部品向け放熱材料

2

LiB冷却機構の放熱材料

3

OnBoardCharger※
(OBC) の放熱材料

※EV/PHEVに搭載される変圧器



世界シェアNo.1

球状シリカ



主に半導体封止材に用いられ、低熱膨張性を付与する

主な用途

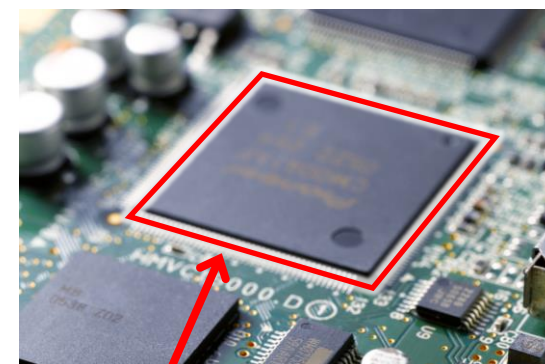
1

半導体封止材用フィラー

半導体と封止樹脂の熱膨張差を小さくし、安定した稼働に貢献

2

半導体パッケージ基板



半導体封止材とは…

半導体を熱、湿気、衝撃などから保護する

新製品

スネクトン



- 当社固有の技術により開発した低誘電樹脂
- 次世代高速通信（Beyond5G、6G）において、要求される低伝送損失を実現
- 架橋性（耐熱性）も有する最先端有機素材

高周波化に伴う基板材料での課題

課題

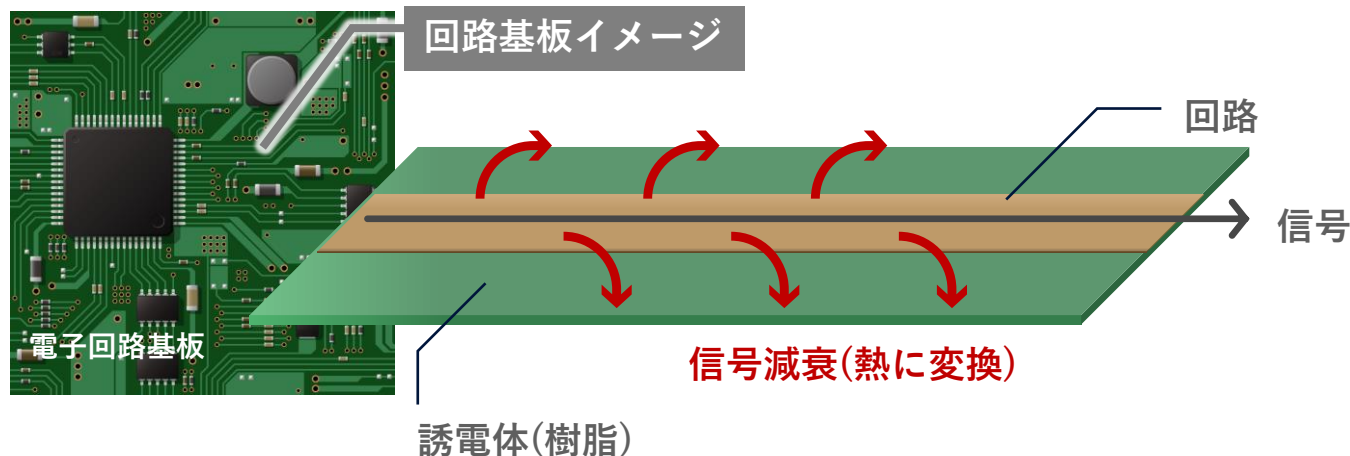
伝送損失

従来のエポキシ樹脂をベースとしたCCL（銅張積層板）では、次世代高速通信用途としては、伝送損失面で課題

スネクトンの位置づけ

積層加工性（密着性等）に優れ、且つPTFEレベルの低Dfを実現

	スネクトン	他社 低誘電樹脂	PTFE
熱硬化・熱可塑	熱硬化性	熱硬化性	熱可塑性
タイプ	軟質	硬質	—
Df (誘電正接)	0.0005~0.0007	0.0010~0.0020	0.0005
種類	炭化水素系	炭化水素系 変性PPE マレイミド系	フッ素系
積層加工	○	○	×



2

当社の事業・製品 ライフイノベーション

世界に誇れる、化学を。

Denka

「予防」「診断」「治療」の領域で、人々のクオリティ・オブ・ライフ向上に貢献

予防



インフルエンザワクチン

診断

抗原迅速診断キット

臨床試薬



治療



がん治療用ウイルス製剤

インフルエンザワクチンを製造する国内メーカーは3社

1951年

当社と合併したデンカ生研の前身である東芝化学工業がインフルエンザワクチンの製造を開始

1972年

副反応を低減させた「インフルエンザHAワクチン」を製品化



2023年

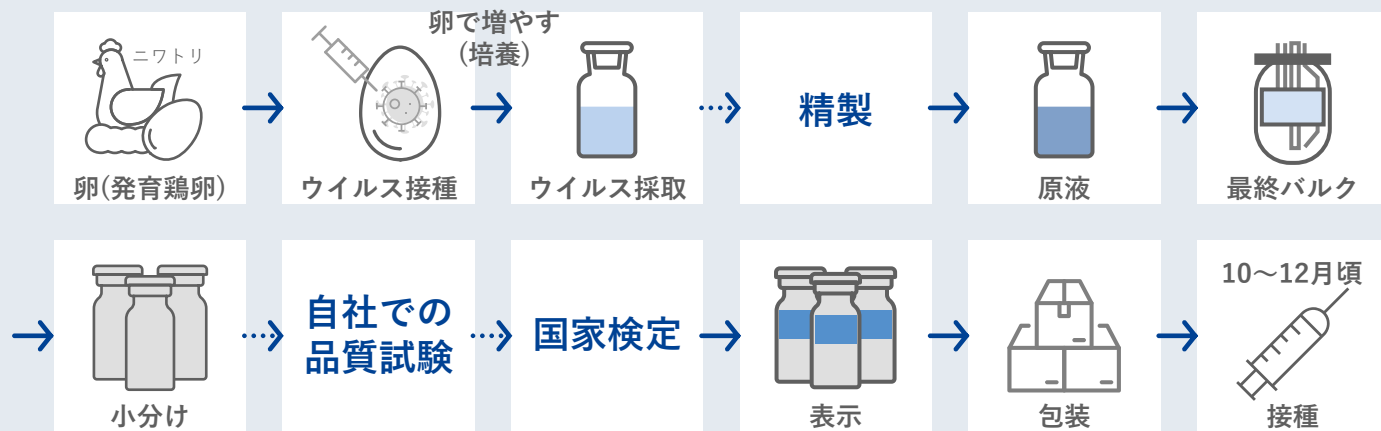
VLPTジャパン、BIKEN財団、デンカ、季節性インフルエンザに対するレプリコン（次世代mRNA）ワクチンの共同研究契約を締結

インフルエンザワクチンができるまで

製造用株選定(1月～3月)

- 世界保健機関(WHO)専門家会議でワクチンに用いる推奨株を毎年決定
- 厚生労働省と国立感染症研究所が流行状況、製造候補株の生産性などを踏まえ、製造用株を選定
- 国内製造メーカー3社による候補株の生産性評価

原液製造(3月～9月)



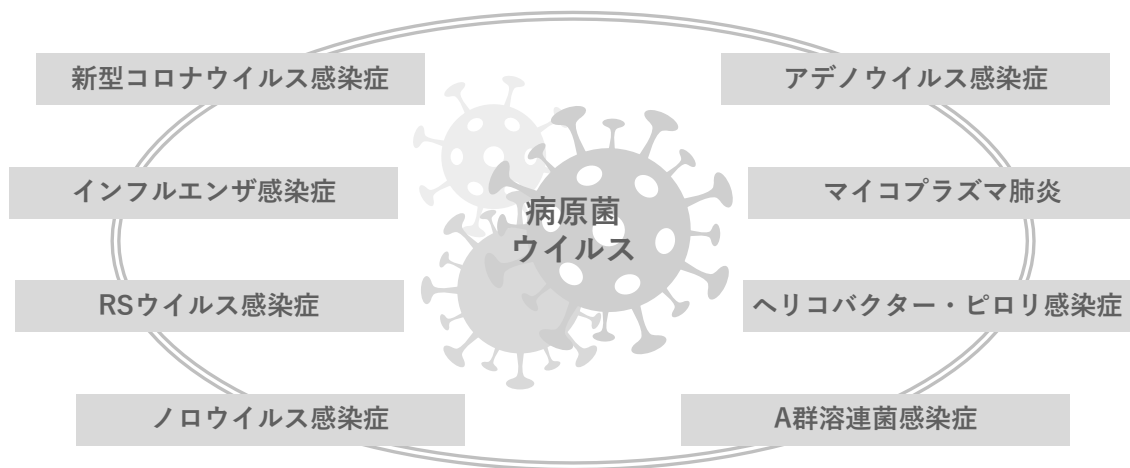
抗原迅速診断キット

様々な感染症が短時間で診断可能

国内シェアNo.1

クイックナビ™-Flu+COVID19Ag
(コンボキット)

※被検者の傍らで医療従事者が行う検査であり、検査時間の短縮および被検者が検査を身近に感ずるという利点を活かし、迅速かつ適切な診療・看護・疾患の予防、健康増進などに寄与し、ひいては医療の質、被験者のQOL (quality of life) および満足度の向上に資する検査。



臨床試薬

2000種類のラインアップを展開、
様々な検査で活躍

区分	主な検査項目	用途
免疫血清検査	CRP、FER、IgGなど	抗原抗体反応を利用して血中の様々な物質を検出（幅広い用途）
臨床化学検査	コレステロール（HDL・LDL・sd-LDL）など	酵素や化学反応を利用してコレステロールなどの血中物質を検出
細菌検査	赤痢菌、病原性大腸菌、サルモネラ菌、ブドウ球菌など	保健所などでの疫学調査
ウイルス検査	麻疹・風疹(ルベラ)など	妊婦検診やワクチン接種前の抗体価検査

2

当社の事業・製品 エラストマー・インフラソリューション

世界に誇れる、化学を。

Denka

様々な製品で人々の安全・安心・快適な暮らしを支える

カーバイドチェーンと主要製品



世界シェアNo.1

クロロプレンゴム



- ・耐熱性、耐油性に優れた合成ゴム
- ・ベルト、接着剤、自動車部品など幅広い用途に展開

生産拠点

青海工場（新潟県）

DPE（米国クロロプレンゴム製造子会社）

DenkaPerformanceElastomerLLC

クロロプレンゴム事業の抜本的対策
（2024年中に決定）

- 1 27万t～29万t水準まで回復するか需要動向を精査
- 2 今後の需要動向を前提として為替動向、原料市況等、様々な観点から、グループとして、保有すべきクロロプレンゴムの最適生産能力の精査

T O P I C S

アメリカ環境保護庁がクロロプレンゴム製造施設に適用される
新たな化学物質の大気排出規制を発表

DPEの操業および業績への影響を精査中

- || 米国内でのクロロプレンモノマー排出量の大幅な削減を求める内容
- || 施行日：2024年7月15日（猶予期間は2024年10月15日まで）
- || 新規制の内容自体の見直しを求める申立てを米国連邦控訴裁判所に提起
- || 猶予期間を90日間とすることの発効停止を求めて差止申立てを提起するも、米国連邦控訴裁判所は却下する決定
- || 一方、ルイジアナ州環境品質局は2年間の猶予期間を許可（有効性を確認中）

2

当社の事業・製品 ポリマーソリューション

世界に誇れる、化学を。

Denka

原料から食品包装容器などの成型品まで製造し、様々な用途で社会を支える

スチレンチェーンと主要製品



世界シェアNo.1

MS樹脂



- 透明樹脂
- 液晶テレビ、モニターのバックライト用導光板や化粧品容器など幅広く使用される

クリアレン



- 高い透明性や、優れた熱安定
- 様々な成形方法に適應できる高機能透明樹脂

世界シェアNo.1

超耐熱性樹脂IP



- ABS樹脂の耐熱温度を高めて熱による部品の変形を抑制することで、安全性の向上に寄与。
- 主に自動車の内装部品や家電製品に使用される

3

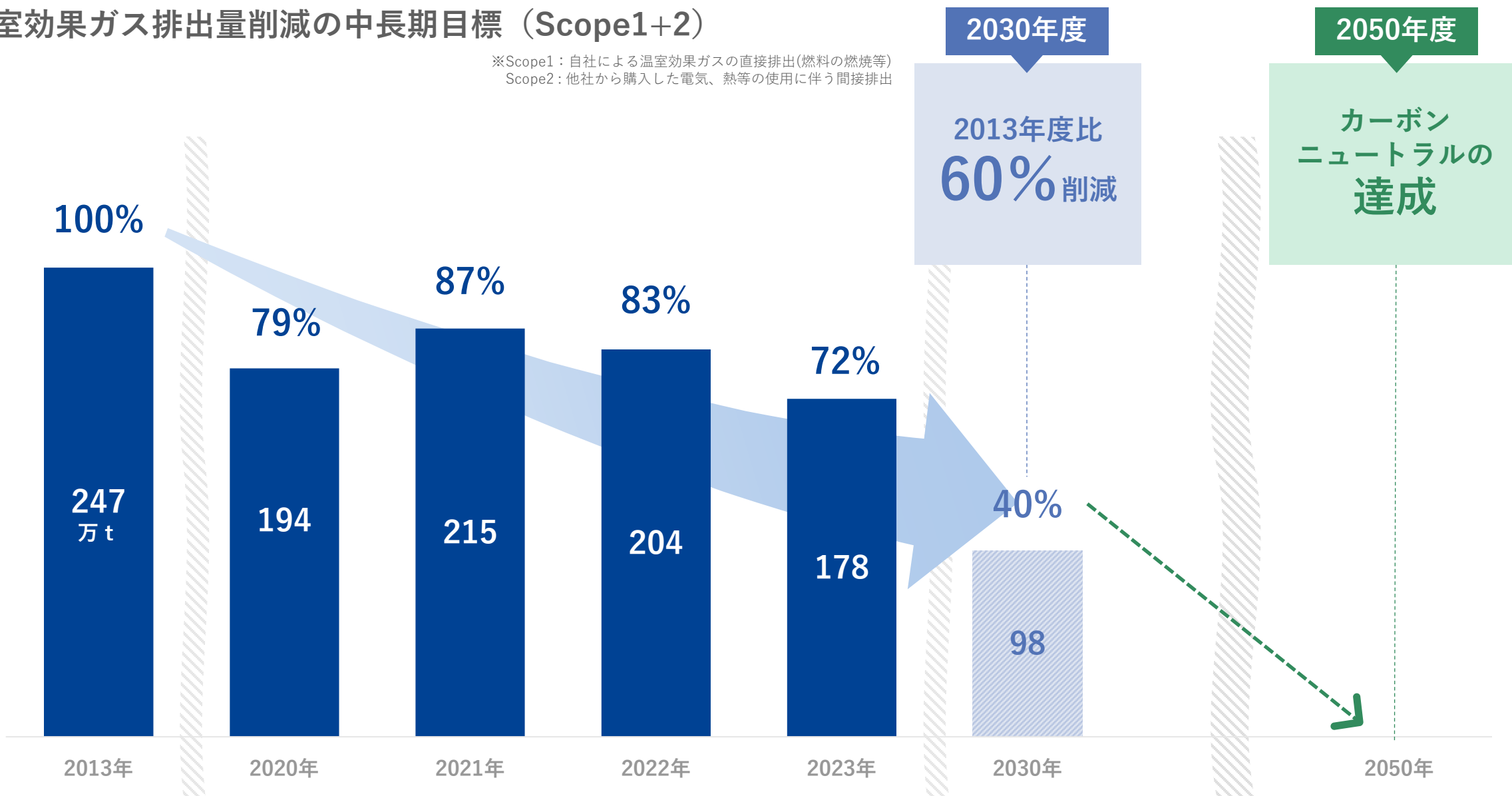
サステナビリティの追求

世界に誇れる、化学を。

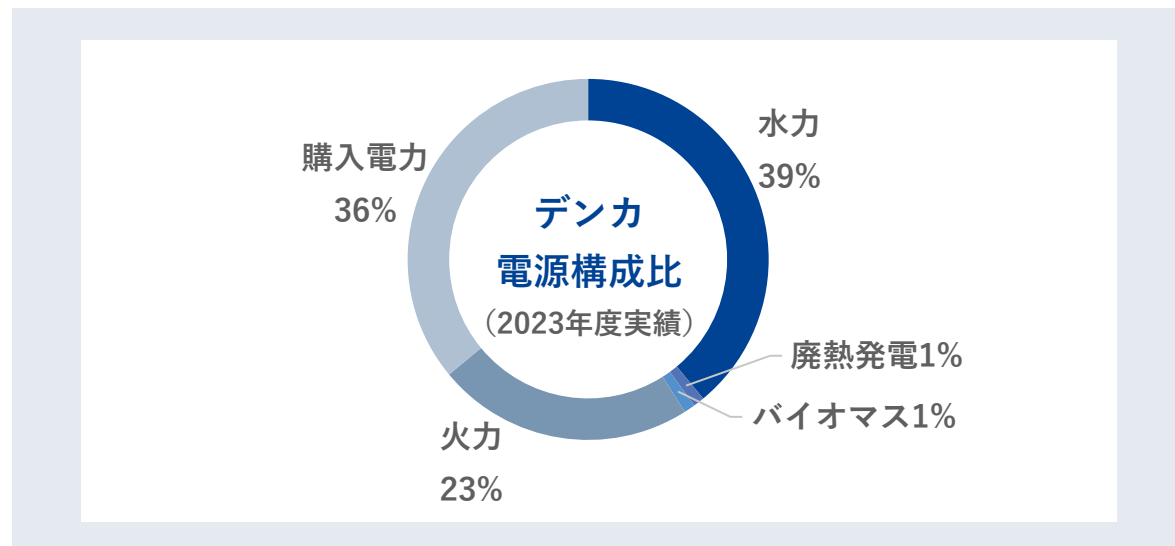
Denka

温室効果ガス排出量削減の中長期目標（Scope1+2）

※Scope1：自社による温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼等)
Scope2：他社から購入した電気、熱等の使用に伴う間接排出



再生可能エネルギーの長期見通し



Denkaの水力発電

電源構成比の約4割が水力発電

(国内17ヵ所、最大出力約14万kw)

※2023年8月現在/合併会社所有分を含む

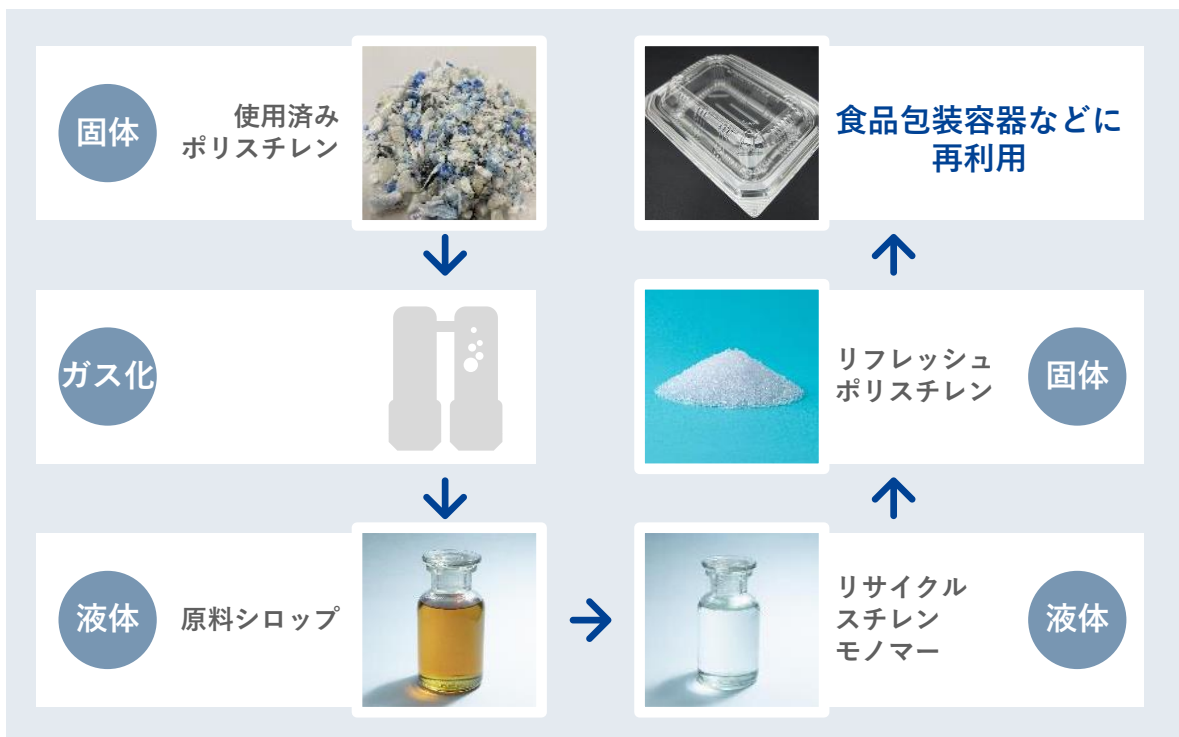


全て「流れ込式」の水力発電で、
発電後には川に戻すため、
自然環境への負担が少ない発電方法

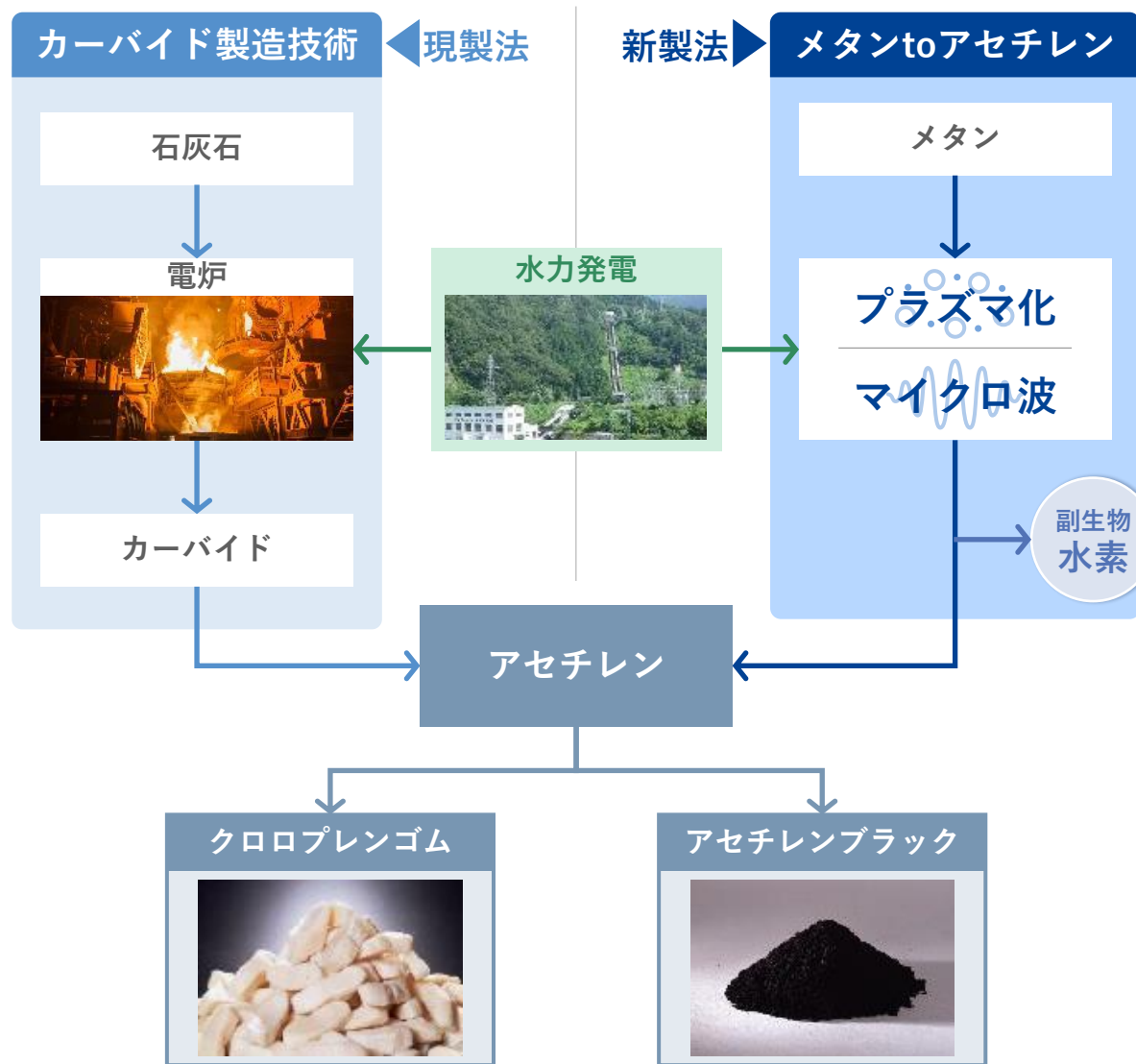
ケミカルリサイクル



世界で唯一ポリスチレンのケミカルリサイクルの商業運転を行なっている米国Agilyx社とライセンス契約を締結し、その技術を導入



低炭素アセチレンチェーンの確立（メタンtoアセチレン）



4

経営計画「Mission2030」と株主還元

世界に誇れる、化学を。

Denka

MISSION

2030年までに、人財・経営価値を高め
スペシャリティ・メガトレンド・サステナビリティの
3要素をそなえた事業価値創造に集中する。

3つの成長戦略

事業価値創造



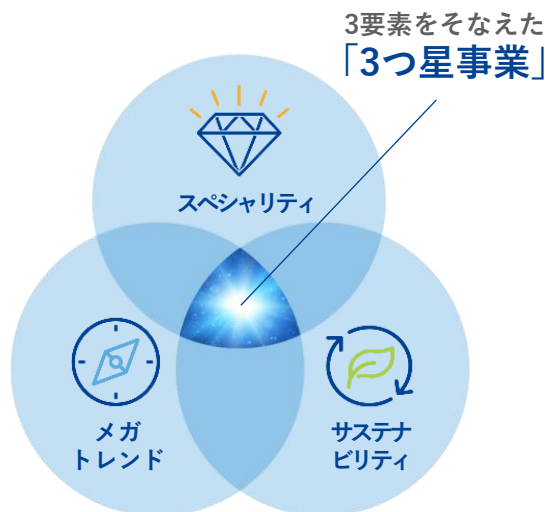
人財価値創造



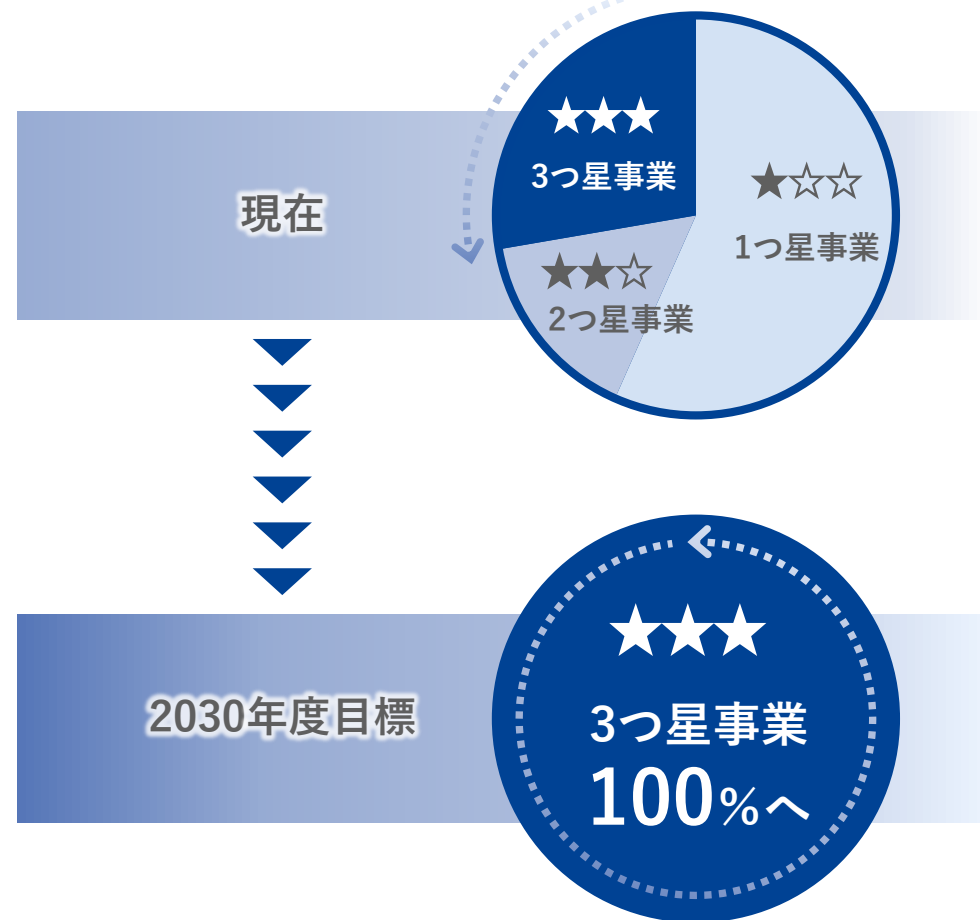
経営価値創造



3要素



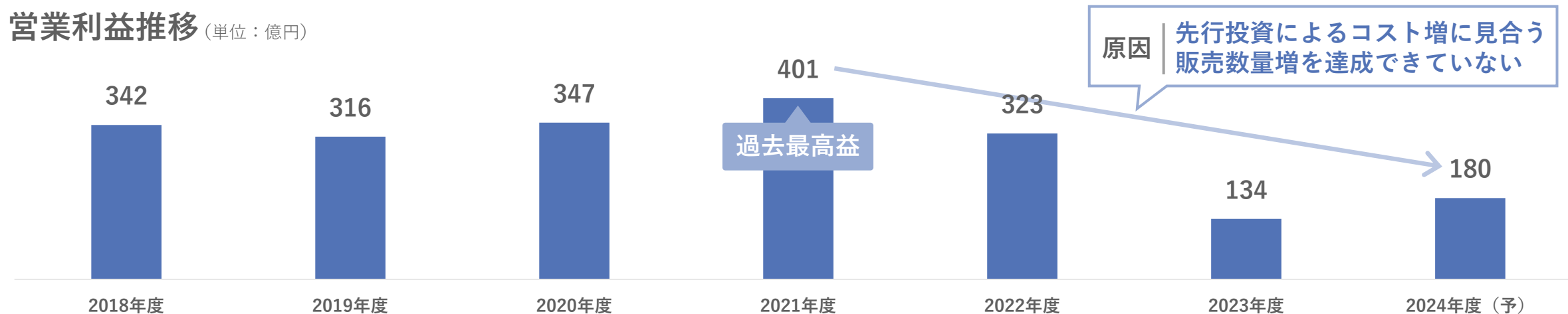
2030年度までに3つ星になれない事業は、
撤退・売却を含め整理し、
ポートフォリオ変革を推進



財務	営業利益	1,000億円以上	営業利益率	15%以上
	ROE	15%以上	ROIC	10%以上
	投資決裁額	23-30年度8か年5,400億円	総還元性向	50%水準
非財務	CO ₂ 排出量	13年度比60%削減(100万t)	再生可能エネルギー発電最大出力	150MW
	労働災害度数率 (死傷者数÷延べ労働時間×100万)	0.2以下	女性/外国籍/経験者管理職比率	50%

3つの対応策を実施し、成長軌道へ戻す

営業利益推移 (単位: 億円)



対応策

ポートフォリオ変革

最優先事項

クロロプレンゴム事業の
抜本的対策
(2024年中に決定)



ベストプラクティスプロジェクト

コスト削減

2026年度 100億円/年以上

業務効率化

従業員1人ひとりの成長



投資計画の見直し

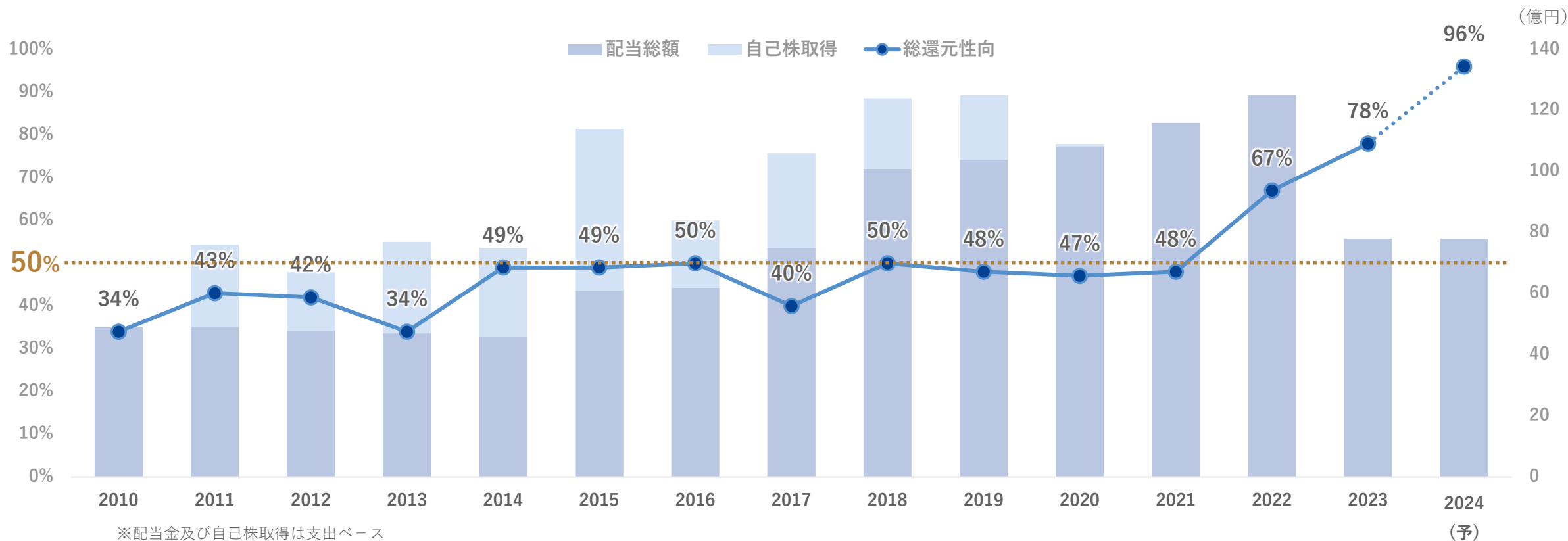
投資案件の厳選

8年間の
投資キャッシュフローの
1,000億円削減を目指す



株主還元方針

総還元性向 50 %（経営計画8年間累計）を目安にしたうえで、
1株当たり配当額の維持、増加を目指す



業績予想の適切な利用に関する説明

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

世界に誇れる、化学を。

Denka

本資料に関するお問い合わせ先

デ ン カ 株 式 会 社

コーポレートコミュニケーション部

TEL 03-5290-5511

URL <https://www.denka.co.jp>